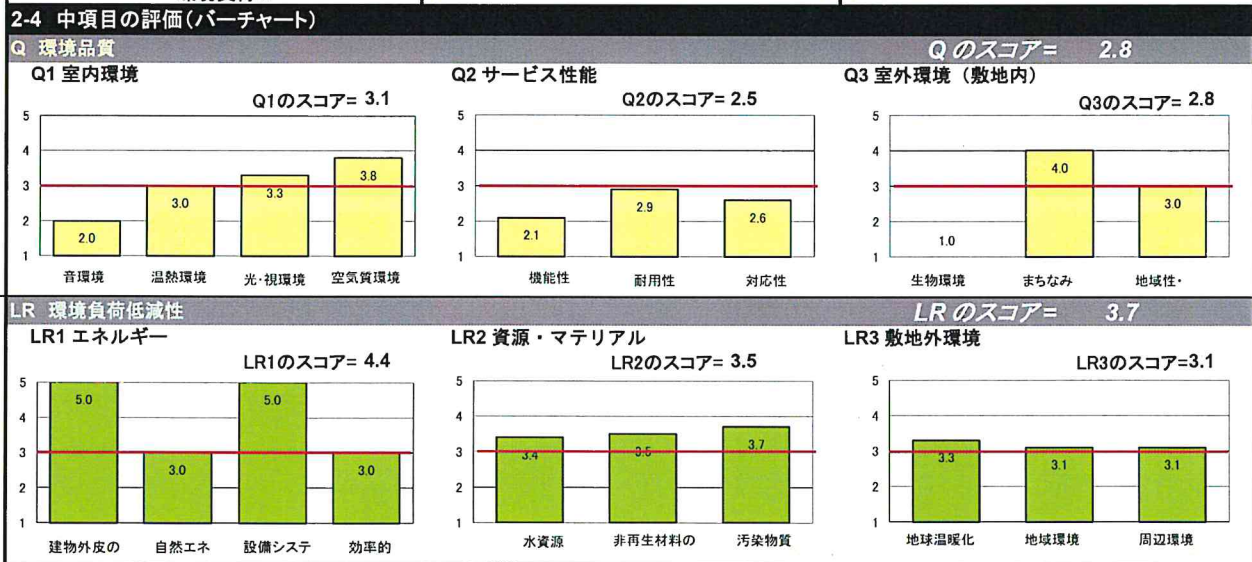
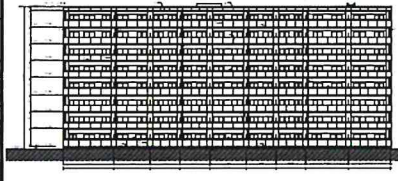


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和8年度市営吉岐住宅(その1地区)	階数	地上8F
建設地	福岡県福岡市西区吉岐団地157-2	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	173 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年5月 予定	評価の実施日	2024年12月1日
敷地面積	6,344 m ²	作成者	株式会社環・設計工房
建築面積	651 m ²	確認日	2024年12月1日
延床面積	4,194 m ²	確認者	株式会社環・設計工房



3 設計上の配慮事項		
総合 周辺地域との調和を図りつつ、生活利便性を高めた緑豊かな居住環境となっている。 子供達・高齢者達が安全に安心して暮らせるよう、コミュニティの充足を図り、多世代にやさしい建物となっている		その他 0
Q1 室内環境 F★★★★の建材を使用することによりホルムアルデヒドの発生を抑え、室内環境に配慮している。 外皮断熱性能は、全戸等級4を取得している	Q2 サービス性能 居室の天井高2.5m以上を確保することにより、ゆとりのある空間を計画している。 また、給水・給湯の配管はさや管ヘッダーシステムの採用により、躯体や	Q3 室外環境 (敷地内) 周囲の環境に溶け込みやすいデザインにて計画している。
LR1 エネルギー ガス給湯器を高効率型を使用することにより、建物の設備による熱負荷を軽減している。 また、LED照明を採用設備の省エネ化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護を考慮し、超節水型便器を採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮がなされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される